

TAEKO magic メイク  
レッスンアカデミー代表

むらかみ たえこ  
村上 妙香さん (50歳)

# 自分に恋する日常メイク

「メイクレッスンを通じて、自分を大切にしたい女性を増やしたい」と語る



プロフィール

合同会社TAEKOmagic代表。「メイクが変わる 人生が変わる」をテーマとするメイクレッスンアーティスト。化粧品販売員だった38歳の時にメイクのもつ可能性に気づく。プロの技術を修得し開業。1万人以上にメイク指導。著書「メイクを教える仕事で独立する方法」。岡山県岡山市在住。岡山観光特使。



「自分に本当に似合うメイクがわからない」と悩む女性が多い。自分に合うメイクができればそれだけで一目置かれる。「日常をメイクでもっと楽しく」を信条に、一人ひとりに合ったメイクレッスンを手がけるのが村上妙香さんだ。仕事への思いを聞いた。

「メイクがわからない」と感じていました。その結果、「メイクは面倒くさいもの」と捉えられてしまいがちなのはもったいないと思います。化粧品販売をしていた38歳の時、あるお客さまにメイクをして差し上げました。すると鏡を見て「私ってこんなに可愛かったんですか」と目を丸くして驚いたのです。その時、仕事としてのメイクの可能性に気づきました。自分を好きになり、人生を変える力になりたいと思ったのです。

自分が自分のことを好きでなければ、誰が自分を本当に好きになってくれるでしょうか。私自身もメイクに出会うまでは自分に自信がありませんでした。人をきれいにすることが自分自身を輝かせてくれました。メイクの仕事には、自分を大切にしたい女性を増やすという社会的意義があると考えています。

「自信ない」女性9割  
「なぜメイクを教える仕事を始めたのですか？」  
社会人になればメイクは毎日するもののはずなのに、誰からも学べず、自分に似合うメイクがわからないためコンプレックスをもつ女性が多いからです。経験から言え

「メイクレッスンは特にどんな人が受けますか？」  
人生をもっと自分らしくポジティブに変えていきたいと願う人が多いですね。メイクは外見を整えることと見られがちですが、内面にもつながっています。メイクは自身と向き合うことでもあり、新しい自分と出会う時間とも言えるかもしれません。

「これからどんな仕事に力を入れていきますか？」  
メイクを教える仕事はビジネスの観点でも大きな可能性があり。メイクは水のようにならぬ仕事と馴染んで活性化させる力があります。建築や教育とのコラボレーションも始めました。メイクは大きな可能性と需要があるのに、できる人が圧倒的に少ないと感じています。メイクの仲間を増やし、より良い社会づくりに貢献していきます。

（聞き手は編集長・プロコ―チ安倍大資）